

報告日 令和5年10月6日
報告回次 3回目

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	河津町			代表者名	岸 重宏
担当者部署	企画調整課			連絡先電話番号	0558-34-1924
担当者役職	主任主事	担当者氏名	植田 大雅	連絡先E-mail	*****
住所	4130595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

アドバイザー	細川 哲星
評価	よい
上記評価の理由（どのようによかったです等詳細に）	こちらが相談したいこと、不安に思っていることに対して明確な回答があった。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年8月10日	支援・助言(実地)	有	令和5年8月9日	832
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年9月30日	講演（実地）	10時00分	16時00分	60
				活動時間（分）	300
派遣場所	会場名	河津バガテル公園	最寄駅	河津駅	
	所在地	静岡県賀茂郡河津町峰1073	最寄駅からの交通手段	バス	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載可 <https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	一般、町内事業者等	8人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	町内の宿泊施設や観光地を活用した周遊型のマーダーミステリーを開催することは可能か。また、町内の事業者から理解が得られるか。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	事業者に周遊型マーダーミステリーというコンテンツを理解してもらい、将来的な協力者を増やす。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	午前中はアドバイザーと町内の旅館及び観光地を訪れ、QRコードを利用した音声ガイドの設置など、具体的な事業展開を含めた説明を行った。 午後は一般参加者及び事業者を集め、マーダーミステリーの体験会を行った。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	事業者の方々に周遊型マーダーミステリーの説明を行った結果、具体的な内容が決まってからではあるが、概ね協力を得られるということで話がまとまった。 体験会では世代を問わず盛り上がり、幅広い年代層で楽しめるコンテンツだとわかった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	周遊ルートは概ね定まってきたが、町おこし事業として行うにはまだ規模が小さく協力者も少ないので、今後も調整を続けていく。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい ③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	実際に体験すれば満足度は高いが、前段階の集客方法に工夫の必要があると感じた。今年、近隣市町で周遊型マーダーミステリーが開催されるため、そちらの動向を確認しながら町独自のマーダーミステリーの実施を検討していきたい。

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

